開催

横浜市教育委員会主催　子どもアドベンチャー

夏休み子ども貿易教室

8月16日（金）13：00～16：30

恒例となった「夏休み子ども貿易教室」を今年も開催しました。
山九株式会社横浜支店様の協力のもと、市内の小学４～６年生の子どもたち19人と
その保護者を本牧ふ頭コンテナターミナルに案内しました。

今回は、定員20人に対して50人という多数の応募をいただき、抽選にて参加者を決定しました。当日は暑い中での移動となりましたが、滞りなくプログラムを行うことができました。

本牧ふ頭では台風の影響が残り、コンテナの船積み作業が休止状態だったためか、コンテナの数が昨年より多いような気がしました。また、ガントリークレーンが動いておらず、残念がる子どもたちもいましたが、停泊しているコンテナ船は近くで見ることができたので、写真を撮ったりスタッフに質問したりと目を輝かせていました。

倉庫内を見学したあと、コンテナ体験をしました。フォークリフトがコンテナをダイナミックに持ち上げて、子どもたちの前に運んできたときには歓声が上がりました。コンテナの中に入ってみるとその大きさが実感できました。シーリングやその切断の作業は各３名ずつの限定だったので、「やりたい人」の声にほぼ全員が手を上げ争奪戦となりました。

参加した子どもたちからは、「コンテナ船が大きくてびっくりした」「実際に港で働いている人の話を聞いてためになった」など、有意義な体験ができたという声を多数いただきました。

安全第一　全員にヘルメットが配られスタッフに手伝ってもらいながら正しくかぶります。

コンテナ群は壮観　規則正しく積まれた色とりどりのコンテナを眺めて子どもたちは興奮気味。

バス移動　広いコンテナターミナル内はバスで移動します。途中の風景も目が離せません。

コンテナ船のそばへ　クレーンは動いていなかったものの、本船を至近距離から眺めることができました。

保税倉庫　コンテナで運ばれてきた荷物がどこからどこへ行くのかなど、スタッフに説明を受けました。

やりたいっ！　争奪戦のシーリング体験。見ている方もつい力が入ってしまいます。

子どもアドベンチャーとは

横浜市教育委員会の主催で、平成16年度から、「働く」ことや様々な社会体験を通じた「人との交流」、さらにこれらの体験を通して、子どもの夢を親子で語り合うなど「親子のふれあいのきっかけづくり」をも目的として開催されています。

今年は8月15、16日の2日間、企業、NPO法人、大学、公的機関などが参加して約80のプログラムが実施されました。「税関の検査を体験しよう！」（横浜税関）、「日銀の仕事にチャレンジ！」（日本銀行横浜支店）など内容は多彩です。

横浜貿易協会は6年前から参加し、平成27年から「夏休み子ども貿易教室」を行っています。

貿易教室
「貿易のはたらきと横浜港を知ろう」

今回初の試みで、見学前の管理棟での座学として、日本貿易会の方に子ども向け「貿易教室」をお願いしました。

貿易のしくみや貿易に関する仕事、横浜港についてなどの授業は、わかりやすくまとめられたテキストを用いてポイントを押さえ、子どもだけでなく大人にもためになったようです。

◆貿易実務研修講座「現場実習コース」では、大人の皆様をコンテナターミナルへご案内します。
今年度は10月18日（金）開催。詳しくは、横浜貿易協会までお問合せください。